

議会カフェ（報告会＋意見交換会）報告書 ④

令和7年5月8日

山陽小野田市議会

議長 高 松 秀 樹 様

広聴特別委員会

委員長 森 山 喜 久

令和7年3月定例会議会カフェ（報告会+意見交換会）の実施状況について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和7年5月8日(木) 19:00～20:30
- 2 開催場所 埴生地域交流センター
- 3 参加人数 19人
- 4 担当議員名 伊場 勇、大井 淳一郎、岡山 明、奥 良秀、白井 健一郎、
恒松 恵子、中岡 英二、中島 好人、中村 博行、福田 勝政、
藤岡 修美、古豊 和恵、前田 浩司、松尾 数則、森山 喜久、
矢田 松夫、山田伸幸、吉永 美子
- 5 報告会次第
 - (1) 高松議長挨拶
 - (2) 3月議会の報告（議会報告動画を視聴） ※司会者 伊場 勇
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
 - (3) 全体的な意見交換会

6 各テーブルの意見

＜総務文教常任委員会関係＞

*中学生の部活動の地域移行

- ・(質問) 先生以外のところでやる場合は原則ボランティアか。
- ・(回答) 有償となる。
- ・(意見) 期限は決まっているものの具体的な形がなかなか見えてこないのが印象。結局、どうするのか。受入団体がはっきりしない。どうなるのかが不明であり、非常に疑問だがどうか。
- ・(意見) 家庭によって不公平にならないような仕組みづくりが必要
- ・(意見) 指導者は公平に見なくてはならない
- ・(意見) 地域移行しても部活に人数が集まるのか、私立学校の希望が増えないか

*「きらら交流館」から「海辺の駅そらうみ」へ再整備

- ・(質問) 工期が延びるのか。
- ・(回答) 工期は延びる。

＜民生福祉常任委員会関係＞

*妊婦のための支援給付金が創設

- ・(質問) この支援給付金というのは、今年度からか。
- ・(回答) 今年度からである。
- ・(質問) 内容は。
- ・(回答) 妊婦に5万円、妊娠が分かった段階で子供1人につき5万円。2人だと10万円で、出産したときに同額が支給される。
- ・(質問) 妊婦のための支援給付金よりも出産費用を見た方が良いのでは。
- ・(回答) 出産手当金とは違い、子育て環境に手厚い支援として理解してもらいたいと思う。

*子ども家庭センターを設置

- ・(質問) どこにあるのか。
- ・(回答) 小野田駅の北側にあるスマイルキッズ。6種類ぐらいの相談サービスがあり、子ども達は遊んでいて、その間お母さんたちが交流したりしている。

*带状疱疹ワクチンを定期予防接種として実施

＜産業建設常任委員会関係＞

*市場施設の減額貸付を否決

- ・（質問） 否決してどうなのか。
- ・（回答） 減額無し、ということ。
- ・（意見） 何が問題になったのかを知りたい。
- ・（意見） 活性化のために道の駅のような機能を持たせてはどうか

***住宅リフォーム資金助成金を増額**

- ・（質問） 条件は。
- ・（回答） 全体の額の頭打ちが 7 万円。70 万円、100 万円かかっても限度額は 7 万で、市内業者に限る。
- ・（意見） 補助を 7 万から 10 万にしてはどうか
- ・（意見） 顧客がなんにでもこの制度が使えると思っている、修繕には使えないと書いていないので修繕には使えないと言う告知が必要ではないか
- ・（意見） 最初、この制度できた時は 10 万円だった。旧小野田市が県内で初めて作った。

その他

- ・（意見） 空き家を活用するために民宿として活用してはどうか。
- ・（意見） 市役所の窓口は感じが悪い。スマイルシティーを掲げるなら、もっとみんな笑顔でやればいいのに。